

## 1. 略歴

1986年3月	京都大学文学部文学科中国語学中国文学専攻卒業
1986年4月	京都大学文学部聴講生
1988年4月	京都大学大学院文学研究科修士課程中国語学中国文学専攻入学
1990年3月	京都大学大学院文学研究科修士課程中国語学中国文学専攻修了（文学修士）
1990年4月	京都大学大学院文学研究科博士課程中国語学中国文学専攻進学
1991年3月	京都大学大学院文学研究科博士課程中国語学中国文学専攻退学
1991年4月	京都大学人文科学研究所助手
1997年4月	奈良女子大学文学部講師
1999年4月	奈良女子大学文学部助教授
2000年4月	国文学研究資料館文献資料部助教授
2000年4月	奈良女子大学文学部併任助教授
2001年10月	東京大学大学院総合文化研究科併任助教授
2002年10月	東京大学大学院総合文化研究科助教授
2002年10月	国文学研究資料館文献資料部併任助教授
2007年4月	東京大学大学院総合文化研究科准教授
2012年4月	東京大学大学院総合文化研究科教授
2015年5月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

中国古典文学

### b 研究課題

- (1) 中国古典詩文、とりわけ六朝から唐宋にかけての詩賦および文学論。
- (2) 古代から近代にいたる漢字圏の生成と展開、またその言語・文字・文学・出版。

### c 概要と自己評価

- (1)については、単著『詩のトポス 人と場所を結ぶ漢詩の力』等において成果を示した。
- (2)については、論文「近世日本の漢詩文：秩序・流通・手法」、「〈漢〉の声：吟詠される佳句」および夏目漱石の漢詩などを対象とした解説・講演・論文等において成果を示し、また科学研究補助金(A)「東アジア古典学の次世代拠点形成」等の共同研究活動を積極的に行っている。

### d 主要業績

#### (1) 著書

- 単著、齋藤希史、『詩のトポス 人と場所を結ぶ漢詩の力』、平凡社、2016.5  
辞書・辞典・事典、齋藤希史、『漱石辞典』（「漢学」「韓非」「韓愈」「史記」「春秋・春秋左氏伝・公羊伝」「晋書」「楚辞」「杜甫」「李白」執筆）、翰林書房、2017.5  
共著、齋藤希史、『漢文脈の漱石』（「漱石と漢詩文：修辞と批評」執筆）、翰林書房、2018.3

#### (2) 論文

- 齋藤希史、「近世日本の漢詩文：秩序・流通・手法」、『日本語学』、35(10)、56-65頁、2016.9  
齋藤希史、「〈漢〉の声：吟詠される佳句」、『中古文学』、100、81-93頁、2017.11

#### (3) 学会発表・講演

- 齋藤希史、「近代東アジア世界的形成と漢字圏：翻譯、訓讀體、亞洲主義」、國際學術講座「亞洲共同體與語言、文化、消費」、文藻外国語大学（台湾・高雄）、2016.5.2  
齋藤希史、「詩の翻譯：欧・漢・和」、集英社高度教養寄付講座第6回講演会、東京大学文学部、2016.7.2  
齋藤希史、「漢字世界の言と文」、嘉泉大学校アジア文化研究所第30回國際學術大会「ユーラシア文明とアルタイ」、嘉泉大学校アジア文化研究所（韓国・ソウル）、2016.9.30  
齋藤希史、「漱石と漢詩文：修辞から世界へ」、二松學舎大学創立140周年記念事業シンポジウム「漢文脈の漱石」、二松學舎大学、2017.3.11

齋藤希史、「〈漢〉の声：吟詠される詩文」、中古文学会春季大会シンポジウム「平安文学における〈漢〉の受容—その日本化の様相」、東京女子大学、2017.5.27

(4) 書評・解説等

齋藤希史、「郎君独寂寞（漢文ノート30）」、『UP』、45(4)、42-47頁、2016.4

齋藤希史、「起承転結（漢文ノート31）」、『UP』、45(7)、55-59頁、2016.7

齋藤希史、「解説 切りつめたことばを解きほぐす」、『文春学藝ライブラリー 漱石の漢詩』、文藝春秋、2016.8

齋藤希史、「読書の秋（漢文ノート32）」、『UP』、45(10)、35-42頁、2016.10

齋藤希史、「杜甫詩注（漢文ノート33）」、『UP』、46(1)、39-45頁、2017.1

齋藤希史、「漱石における漢詩文：小説とのかかわりから」、『漢文教室』（大修館書店）、203、6-15頁、2017.5

齋藤希史、「友をえらばば（漢文ノート34）」、『UP』、6(7)、51-57頁、2017.7

齋藤希史、「スクナシジン（漢文ノート35）」、『UP』、46(10)、46-52頁、2017.10

齋藤希史、「漢詩人（漢文ノート36）」、『UP』、47(1)、52-59頁、2018.1

齋藤希史、「翻訳語事情」、『読売新聞』、2016.4.4（「積極的」）、2016.6.6（「声明」）、2016.8.1（「体操」）、2016.10.3（「鉄道」）、2016.12.5（「郵便」）、2017.2.6（「世代」）、2017.4.3（「辞書」）、2017.6.5（「歴史」）、2017.08.7（「多様性」）、2017.10.2（「文化」）、2017.12.4（「常識」）、2018.2.12（「試験」）

齋藤希史、書評、下定雅弘・松原朗編『杜甫全詩訳注 全4巻』講談社学術文庫、『産経新聞』、2016.11.7

(5) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、齋藤希史、研究代表者、「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」、2015～2018

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、早稲田大学政治経済学部

授業担当教員、ベトナム国家大学人文社会大学大学院・ベトナム国家大学日越大学大学院（ベトナム・ハノイ）

招聘教授、コレージュ・ド・フランス（フランス・パリ）、2017.4.22-5.19（セミナー“Qu'est-ce que le monde sinographique?”  
他）

セミナー、“Japanese Vernacular Kambun?”、プリンストン大学 EAS（米国・プリンストン）、2016.9.21

セミナー、「漱石における小説と漢詩文——二〇世紀の表現／批評行為として」、コロンビア大学 EALAC（米国・ニューヨーク）、2016.9.22

ワークショップ、「日本漢文」、コロンビア大学 EALAC、2016.9.23

特別講義、「漢字圏としての東アジア」、東西大学校日本研究センター（韓国・釜山）、2017.11.24

特別講義、「漢籍の声」、浙江工商大学東亜語言文化学院（中国・杭州）、2018.3.12

(2) 学会

国内、中国社会文化学会理事、東方学会学術委員、六朝学術学会理事、日本中国学会評議員、日本近代文学館運営審議委員